

「健全育成」・「生活支援」 「健康維持」・「災害対策」 の課題解決に向けて

本会では、今年度、時代とともに変化する様々な福祉課題を解決し、共に支え合う未来を創るため、徳島県内の社会貢献活動団体や多様な機関が相互に連携し、課題解決に取り組む事業に必要な資金を助成する「共に支え合う未来を創る」助成事業を始めました。

この助成事業により、各地域で、「健全育成」「生活支援」「健康維持」「災害対策」の課題解決に向けた取り組みがより一層広がることを期待しています。



とくしま
福祉広報

192号
december.2017

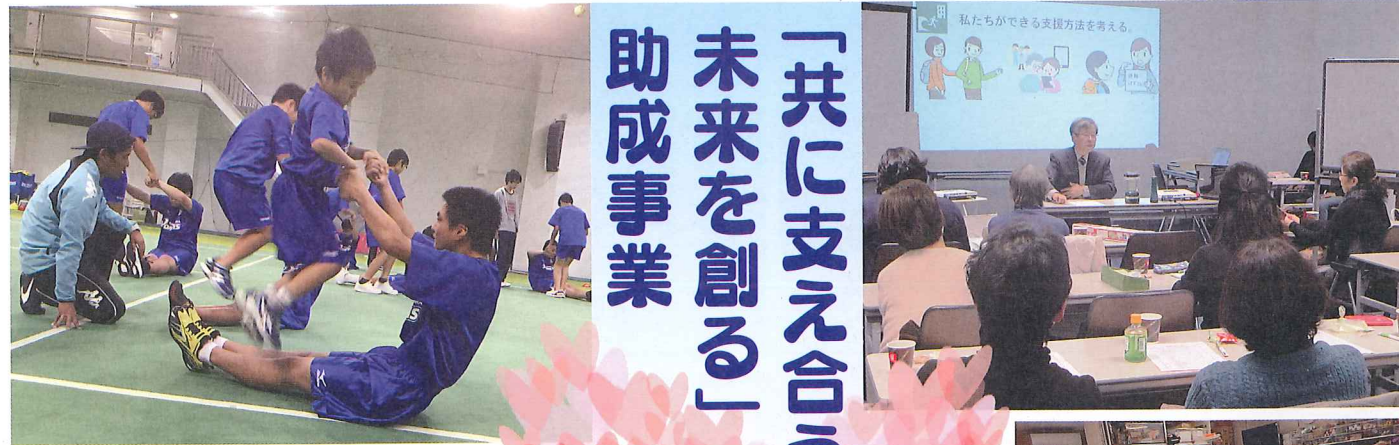
社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

平成 29 年度助成事業要件

- ・「健全育成」「生活支援」「健康維持」「災害対策」のいずれかの分野の、課題解決につながる事業であること。
- ・3団体以上で相互に連携し、実施する事業であること等。
＜助成額＞1申請につき、上限20万円。

今回の特集では、平成 29 年度助成先団体の事業を御紹介します。なお、次年度の助成団体の募集については、平成 30 年 1 月頃に御案内予定ですので、本会ホームページ等にて御確認ください。



「共に支え合う
未来を創る」
助成事業

平成29年度 助成金交付決定団体一覧

- ・特定非営利活動法人藍住町手をつなぐ育成会
- ・阿波市花と緑と香りのネットワーク
- ・徳島県がん患者団体協議会
- ・徳島県市町村社会福祉協議会職員連絡会
- ・徳島県筆記通訳者協会
- ・特定非営利活動法人ほっとハウス

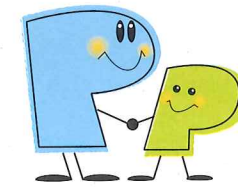
(6団体)



ボランティア・
NPOの情報紙
41号 december.2017

とくしま県民活動プラザ

770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvvc.jp



マスコットキャラクター プラザ



YOU プロジェクト in インドネシア 2016 現地調査 地域住民と記念撮影 (右端が理事長の佐藤 貴志さん)

ひと41号 december.2017 CONTENTS

特集 NPO法人エコロジカル・ファーストエイド
未来を生きる子どもたちにうつくしい自然を...

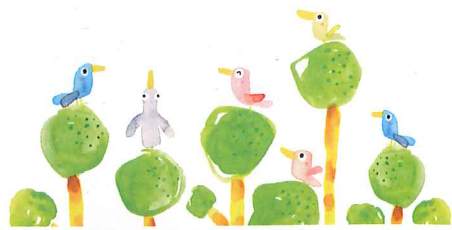
ひと 人とかかわるのが好きなんよ
手話サークルみかも
代表 安藤 洋子さん

シリーズ・このひとから
「ゲーテーターク・ニーハオ文化講座や、
まちづくり公民館講座から」
NPO法人まちづくりサークル 理事長 日下 正幸さん
住民主体の福祉をめざす
鳴門市社会福祉協議会 主事 三木 諭さん

ハートリレー
No.41 安宅さんから土井さんへ

New face
TPS チアリーディング部

今回の特集は、環境問題解決のための技術提供を通し、環境改善を図るとともに、各地域が自立・持続できる環境保全に貢献することを目指す「NPO法人エコロジカル・ファーストエイド」さんを紹介いたします。県内はもとより、国内・外で広く活動されている、今、大注目の団体です。



さとう たかし
理事長 佐藤 貴志さん

地球温暖化、PM 2.5、酸性雨等環境の悪化によってもたらされる現象が、今、世界各国で起こっています。このような現状の中、「未来を生きる子どもたちにうつくしい自然を残したい」との切なる思いが、NPO法人設立へとつながった小松島市のNPO法人「エコロジカル・ファーストエイド」の本部を訪ねました。ニコニコとした人懐っこい笑顔で温かく迎え入れてくれた理事長の佐藤さん、団体設立の経緯とこれから進めていく事業について、話してくださいました。

「現代社会の便利な生活の代償として、環境汚染が地球規模で発生しているが、自分たちの世代の痛みを次世代の子どもたちに残すのではなく、明るい希望を残したいとの思いで仲間呼びかけ、2016年5月に団体を設立しました。

団体の活動は、①環境開発技術の研究開発とその成果物の技術提供と②環境の意識啓発のための講演及び環境学習の実施が大きな柱となっています」と熱く語ってくださった佐藤さんの笑顔の奥には、秘められている底知れないパワーを感じました。



この小さな装置が
世界を変える



団体独自の技術のひとつ、水質浄化装置 YOU

たくさんの方が
集い多くのアイデアが
生まれる!

NPO法人本部
(1F 研究所、2F 事務所)



団体を支える
エキスパートたち



やまざき たかお
山崎 剛生さん
団体メンバーの健康・栄養管理
顧問。よき相談役であり、副理事長。
ご自身もカフェを経営される。



おだ さちゆき
尾田 幸運さん
人柄と信頼から住民との
調整役を担当。また、装置 YOU の
製作を担う研究員でもある。



むらた みちひろ
村田 道弘さん
気さくで明るい団体のムードメーカー。
人の想いを形にするデザイナー。
ホームページ担当デザイン顧問。



にい まさこ
新居 正子さん
いつも夢見る笑顔の英語アドバイザー。
団体パンフレットの英語校正等担当。

現在の取り組み

研究開発

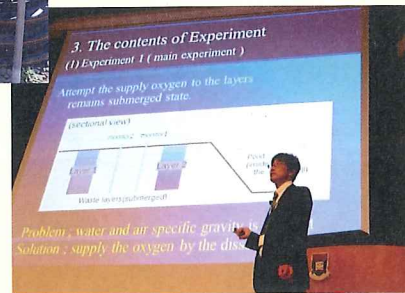
開発コンセプトは「ホームセンターの材料で作れる」こと



水質浄化装置 YOU。
生物処理と微細気泡ユニットの
複合型。こちらもスマートフォン
遠隔制御と浄化や実験を無人
自動継続可能。



国際学会での研究成果発表
(土壌の浄化)



浄化する
前の汚水



YOU による
浄化した水

技術提供

『自分たちでできる 自然界への応急手当て』を理念に、「水質浄化装置 YOU」の研究開発などの活動で、地球の環境改善に貢献されており、インドの村にも YOU が設置されました。住民の一人ひとりが、メインキャラクターとなれるプロジェクトを共に考えます。



地元小松島市でのドブ川浄化
プロジェクト。害虫や悪臭を
止めることに成功しました。

村の子どもたちの力で
YOU を組み立てました



講演・環境学習



親子参加型環境学習



徳島大学での講演

日本人の出す汚水は、1日に平均200L/人と言われてます。学習の経験により、汚水を1日に1Lでも減らすとどうでしょう?そんな人が家族単位、地域の人々、街全体で、このような自然界へのおもいやりを持つことができれば、きっとそれは大きな力へと変わっていきます。自然に囲まれた徳島を未来へ繋げるため、一人ひとりが自然界との架け橋となれることを願います。

今後の取り組み

エコロジカル・ファーストエイドの活躍の場はネパールにも広がり、今後もっと自分たちの活動を更に広く世界へ伝えていき、YOUプロジェクトを通し、「大人たちは子どもたちを見守り、子どもたちはプロジェクトの経験から自分の夢に向かって進んでほしい」と願い活動を続けているそうです。

(取材：山下健一・広岡早紀子)



NPO 法人
エコロジカル・ファーストエイド
理事長 佐藤 貴志

本 部 : 〒773-0007 徳島県小松島市金磯町9-62
メー ル : eco.1st.aid@gmail.com
電 話 : 090-1322-1447
URL : eco-1st-aid.com
SNS : https://www.facebook.com/EcoFirstAid/



人とかかわるのが好きなんよ

今回は、東みよし町ボランティア協議会会長であり、東みよし町を拠点に活動する「手話サークルみかも」代表の安藤洋子さんにお話を伺いました。

手話サークルみかもは、設立30年になる団体です。聾者と健常者が共生することを目的として活動し、毎週木曜日に東みよし町社会福祉協議会の会議室で聾者の方とともに手話による座談会や勉強会を行っています。また、東みよし防災フェスティバルなど地元で開催される各種イベントに積極的に参加し、聾者の方と一緒にブースを運営して手話の広報・啓発に取り組んでいらっしゃいます。

安藤さんは、親戚に難聴者がいたことで手話の必要性を感じ、手話を身につけようと平成7年に手話サークルみかもに入会したそうです。活動を進める中で、自分が子どもの頃、感じたことを思い出しました。それは、近所の聾者に対するまちの人の冷やかな態度、偏見。子どもながらに「おかしいな」「まちがっている」と思ったそうです。サークルへ入会してからは、引きこもりがちで外へ、明るい場所へ連れ出して、「みんな仲間。できることを一緒にしましょう」と寄り添い、ともに活動しています。聾者には手話を教えてもらい、安藤さんは聾者が社会性を身につけられるよう支援を行う。安藤さんと聾者があくまでも対等の立場にいること。イベントに際しても、聾者は、招かれた障がい者という立場ではなく、一緒に運営するスタッフであるのです。そして、地域社会の人と交流することが、聾者の方の自信につながるのです。地域に知り合いが増えるほど、聾者だからという偏見がなくなり、1人の人として対等な関係が築けていけるのだと、安藤さんは力強くおっしゃいました。

サークルの会長を10年以上続けられて、今、直面するのは、後継者の不足。特に若い会員が数少ないとのこと。そこで、手話に触れる機会をつくり興味をもってもらおうと、町内にある小学校の手話クラブに指導に行っているそうです。手話を経験した小学生が、高校生や大学生になってボランティア活動として取り組んでもらえれば、もしくは、手話通訳者の職業に興味をもってくれれば、聾者の支援につながると目を輝かせて話してくださいました。

この他、安藤さんは、JAに出荷できない野菜を利用してケチャップやポン酢などを製造しています。東みよし町のトマト農家で結成された「桃ちゃんトマト倶楽部」の会長でもあります。東みよし町にはこんなおいしいトマトがあることを知ってほしい、トマト本来のおいしさを知ってほしい、という思いで平成18年に設立したそうです。余ったトマトでケチャップを製造し、産直市場やイベントで販売しています。さらに、5年前から、町内の中学校に講師として出向き、家庭科の時間に地産地消の観点で出前授業をしているそうです。地域の子どもたちにもふるさとの味をたっぷり味わってほしい。素材を活かした無添加の味に親しむことにより、ふるさとに愛着が湧く。つまり、食を通じてふるさとやそこに住む人を愛する心を育てていきたいと語ってくれました。

聾者の方にも、子どもたちにも、東みよし町がやすらぎの場であり続けられるように願う安藤さんの熱意を感じました。(取材：菊本佳孝、秋月大輝)



手話サークルみかも
あん どう よう こ
代表 安藤 洋子さん

●連絡先 TEL: 0883-82-5832

「ゲーテトーク・ニーハオ文化講座や、まちづくり公民館講座から」

くさか まさゆき
NPO法人まちづくりサークル 理事長 日下 正幸

1. ドイツ文化や中国文化の国際文化を学ぶ

●ヨーロッパのドイツは日本の風土とよく似ている。まじめさ、きちょうめんさも日本人と共通だ。2017年、鳴門市板東は「板東捕虜収容所」ができた百年、交流記念でイベントがあり1月「公民館まつり」で、私が「ふれあい百年をむかえて」の詩を朗読した。酪農、農業、技術、パンなどの食品、薬品等交流で育まれた文化は今でも確実に残っている。

●中国文化は中国各地のさまざまな文化が、民族文化として発展し、台湾からも影響を受けている。食文化も民族ごとに八大料理がある。漢字についての話では意味の違いに驚く。

娘…母、丈夫…父、愛人…奥さん、汽車…自動車、手紙…トイレットペーパーなど。

日下 正幸

鳴門市板東公民館長、徳島県カウンセリング協会会長
カウンセリング、実践教育研究、こころ塾、心いきいきインストラクター、作家、詩人、
歌人、フリースクール心庵、学習塾心塾、いやしの連句主催

2. まちづくり公民館講座より

三世代交流を目的とした「公民館カフェ」や「プロスポーツを活用した公民館講座」を行った。

例①遊びと学びの心の広場…子ども、大人も悩みの解決を図るゲーム等で心身ともに元気になった。

②「コウノトリ音頭、鳴門、歓喜の歌」を合唱した。

③戦争体験の話聞いて、平和への願いを強くした。

④スポーツ選手とゲームや実技をしたり楽しむことで、苦しさを感じ、学び合い共に楽しんだ…体も心も元気な一体感を味わう。



住民主体の福祉をめざす

鳴門市社会福祉協議会は、平成29年度中に「地域福祉活動計画」を策定する予定です。この計画は、子どもからお年寄りまで、障がいや病の有無に関わらず、地域で安心して暮らせるよう、お互いに見守り・支え合う仕組みを「みんなが、考え、作り上げていくべきものであることから、平成28年3月より市内13地区で計65回にわたる地域座談会を平成29年11月まで開催し、地域の「良いところ」や「今困っていること」、「このままでは将来困るであろう問題」などについて、住民の皆様に出意を出し合ってくださいました。後半の座談会では、こうした仕組みをつくるために、地域や地区社協・市社協が、「何を、いつまでに」実施していくのかについて、13地区ごとにテーマを決めて共に考えてきました。

この座談会を開催するにあたり相当苦労も多かったのですが、これまで交流できなかった方々と繋がることができ、福祉が様々な分野のボランティア活動に支えられ

鳴門市社会福祉協議会 主事 三木 諭

ていることに改めて気づかされました。同時に、市民活動の調整を図るボランティアコーディネーターの役割の重さを実感できた良い機会となりました。計画づくりのための座談会は終了しましたが、住民主体の福祉をめざし、それを実現していくため、今後も地域住民との関係は大切にしていきます。



福祉資源のマップづくり



地域座談会の様子

イベントガイド

「ぶらざタウン」開催

子どもたちがいきいきと活動するまち「ぶらざタウン」を開催します。

子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから活動を教わり、一緒にいきいきと活動することにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ、遊びに来てください!!

●ぶらざタウン

日時：平成30年3月4日（日）9：40～14：30

場所：沖洲マリンターミナルビル

内容：NPOボランティア活動体験

（ステージ発表・製品販売等）

主催：認定NPO法人とくしま県民活動プラザ・社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・徳島市市民活力開発センター

NPO出前授業の講師（団体）募集

平成28年度より、とくしま県民活動プラザでは、出前授業として、県内の社会貢献活動団体で活動されている方を小中学校等への講師（団体）として、派遣を実施しています。つきましては、ご協力いただける県内の社会貢献団体を募集します。

出前授業、講師（団体）派遣の流れ

※詳細については、プラザのHPをご覧ください。

1. 講師登録申請用紙に必要事項をご記入の上、とくしま県民活動プラザまでご提出ください。

（申請用紙はHPからダウンロードできます。）

※プラザに団体登録していない団体は先に団体登録してください。

団体登録には以下の書類が必要です。

- ・団体登録申請書
- ・団体の規約
- ・団体の構成員名簿
- ・取り組んでいる、又は取り組もうとしている社会貢献活動の内容が分かる資料
- ・その他、プラザ理事長が必要と認めるもの

2. 講師登録が適当と認められた場合は、登録団体の一覧表に掲載し、県内の小中学校等へ配布します。なお、ホームページ上でも広報します。その後、県内小中学校等からの派遣依頼を受け、依頼された団体との連絡調整を行います。依頼を受けた団体は、学校に出向き出前授業を行います。

3. 出前授業実施団体には、出前授業終了後必要経費の一部（1万円程度）を支給します。



No.41 安宅さんから土井さんへ



徳島県エアロビク連盟 理事長

スタジオFUN 主宰 土井 逸子さん

ダンスで、にし阿波を元気に!!

東みよし町加茂にあるスタジオFUNの土井逸さんは、私のゴルフ仲間の土井祐司さんの奥さまです。ダンススタジオFUNを始めて17年、地域のアイドルとしてお祭りやイベント等でダンスを披露、年間50回以上の活動をしています。また、施設への慰問にも数多く行っています。恒例となっている施設では、彼女たちが来るのを楽しみにしているそうです。お年寄りに笑顔を届けるため、心のこもった踊りをしたり、一緒に歌をうたったりしています。

いつも、お年寄りや地域の人たちのアイドルとして、地域に密着したグループを率いて、町の活性化に向けて頑張っています。

いつも元気でハツラツとしている土井逸子さん。これからも、益々、町のアイドルとして頑張ってください。私も、常に、敬意をもって拝見させて頂き、活動の参考にさせていただきます。



文・安宅 実

New face TPS チアリーディング部

■設立について

女性ばかりで何か地域を盛り上げるような活動をしたと考える中、紆余曲折しながら辿り着いたのがチアリーディング部です。TPSチアリーディング部。TPSとは「Tokushima Pretty Sisters」の頭文字をとって名付けました。

徳島ヴォルティスやインディゴソックスのプロスポーツチームを応援することをメインに、徳島や地域を盛り上げたいという想いでやってきました。そんな私たちの想いをもっと伝わるようにと、2016年に特定非営利活動法人を設立しました。

■現在の主な活動

もともとは大人だけが集まってできたチームでしたが、今は小学3年生を中心に、子どもと大人10名くらいで活動しています。今は踊っていない会員もいろいろとサポートされています。立ち上げた当初は、「ダンス頑張るぞ!!」という気持ちでやっていましたが、今は本格的なダンスではなく、小さな子どもも踊れるようなダンスを楽しみながらやっています。徳島ヴォルティスやインディゴソックスなど、地域のプロスポーツの試合で応援をしたり、念願だった施設の慰問など、地域を元気にするお手伝いをしています。



チアに興味のある方、メンバー募集中!

■これからのビジョン

とにかく、もっと知名度をアップして、いろいろなところから声をかけてもらえるようになります。「目標は来年の水都祭出場!!」出場することによって、もっと社会に貢献しているという実感が湧くと思うので、「はなはるフェスタ」にも出ることができたらいいなと思っています。

ただダンスだけをやっている団体だというのはなく、まちづくりを基本に、子どもの健全育成にもつなげていながら、地域社会に広く貢献していきたいです。また、子どもたちが楽しく長く続けていきたいと思うような場所でありたいと思います。



藍住インディゴコレクションに参加

（取材・文：山田 奈津・日下 睦子）

TPSチアリーディング部

設立年月日：平成28年10月5日

住所：徳島市万代町5丁目71番地 中央システム倉庫2F

TEL：088-624-9510

E-mail：club.otani.1224@gmail.com

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は（認定特非）とくしま県民活動プラザと（社福）徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間

開館時間：10：00～18：00

【研修室利用時間】

火曜日～土曜日：10：00～21：00

日・祝日：10：00～18：00

休館日/月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、

・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ

・「沖洲・南海フェリー前（マリンピア経由）」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

とくしま福祉広報「リプル」に掲載しております預託の担当を、本年度よりさせていただきます。

今年度も、皆様方のおかげで昨年に引き続き様々な預託が徳島県社会福祉協議会によせられています。既に預託していただきました各所の皆様方、誠にありがとうございました。

とくしまボランティア推進センターでは、今後もボランティアをしたい方、受け入れたい方をうまくお繋ぎできるように努力して参りますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

（湊川翔平）

一生、いい歯と付き合うために。

「成人歯科健診を推進しています」

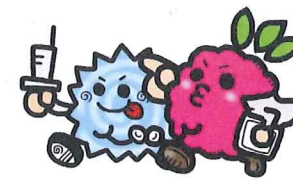
一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 森 秀司

徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977

ホームページ



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに! 参加団体、募集中。



吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/



地域生活支援と私



株式会社うしきの郷
短期入所生活介護事業所うしきの郷

施設長 大仁 秀俊
おおい ひでとし

福祉の「ふ」の字もしらないでこの業界に足を踏み入れて36年目を迎えました。振り返れば、人生の半分以上の時をお世話になっていきます。

当時は、「措置制度」の時代でした。「措置制度」の時代の職員は云々とおっしゃっている経営者の方がいると聞いたことがあります。措置制度の施設福祉、在宅福祉は今よりも余裕があり充実していたような気がします。施設への入所は、行政からの決定で、申し込みの順番どおり入所してしましました。デイサービスセンターも地区割りがあり、決められた地区のデイサービスセンターを利用していました。どこかの施設、事業所がいい処遇をしている。いいサービスをやっているという話を聞けばその施設に見学、研修に行き、持ち帰って、自分の施設、事業所でも実践し職員一丸となって、サービスの質の向上に取り組んでいたように思います。入所、利用

は順番どおり、どの施設に入所しても、どの事業所を利用しても同じ処遇、サービスが受けられているように思います。ある意味、高齢者にとって公平な福祉だったように思います。

平成12年に「介護保険制度」に移行しました。高齢者が自らサービスの種類や事業者を選んで利用できる仕組みになりましたが、事業者側はどうだろうか？利用者が望むようなサービスが提供されて



いるのだろうか？高齢者にとって、公平なサービスが行われているのだろうか？そんな疑問を抱いているのは、私一人なのだろうか。そんな思いもあって、6年前に多様な介護状態の高齢者すべて、24時間365日受け入れできる、事業所側の「想い」、ご本人の「想い」、家族の「想い」を受け入れてあげられる事業所をという大それた思いで、短期入所生活介護事業所を開設しました。「自分がさ

いもあり、日中、夜間問わずトイレ誘導で排尿、排便を行いました。在宅に帰られた後、介護の負担が増えたという話を聞かされた時、それぞれの「想い」を叶えることの難しさを感じました。色々な事情もあり事業を続けていく困難も痛感していますが、続く限り、それぞれの「想い」をどうすれば叶えられるのか自問自答しながらやっていきたいと思っています。



卓越した価値を提供し、地域・お客さまと成長していく良き「パートナー」をめざします

環境にやさしい銀行を目指し環境保全活動に取り組んでいます。



トクベ〜 © 2003 TOKUGIN

つぎあえばとくぎん 徳島銀行 http://www.tokugin.co.jp

地域密着一等星銀行へ

阿波銀行 http://www.awabank.co.jp/

第13回とくしまNPO・ボランティアフェアを開催しました

11月5日(日)、徳島市の新町川水際公園で「第13回とくしまNPOボランティアフェア」を開催しました。当フェアは、県内で活動する社会貢献活動団体の取り組みを広くPRし、参加や活動促進へのきっかけをつくることを目的としています。

今回は、県内の23団体に出展いただき、ダンスや紙芝居、歌、楽器演奏のステージと活動体験コーナーや物品販売を行うテントブースを設置しました。

近隣でトモニ SunSun マーケットや狸まつり等が開催されたこともあり、会場は終始賑わいを見せました。多くの方々、幅広い年代の方々にNPO・ボランティア活動を知っていただく一日となりました。



ご
あ
り
が
い
ま
す

預託

●全国農業協同組合連合会徳島県本部様・JA徳島農政協議会様より、児童養護施設へ新米の阿波そだち(コシヒカリ)の御寄贈 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、板野町養護老人ホームへそば打ち体験と試食の御提供 ●認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ様より、児童養護施設へ小・中・高校生のNPO・ボランティア活動体験事業 子どもがいきいきと活動するまち「うずつこタウン」の御招待 ●損保ジャパン日本興亜株式会社様・AIR オートクラブ徳島支部より、特別養護老人ホームやまもも荘へ車いす整備清掃ボランティアの御提供 ●徳島県阿波牛(牛肉)販売推進協議会様より、児童養護施設へ阿波牛の御寄贈 ●霊友会「おもいやり連鎖運動」徳島県推進委員会様より、特別養護老人ホーム上板あおは苑へ歩行器具の御寄贈 ●太田ボタン店様より、社会福祉施設等へ手芸用生地の御寄贈

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成29年度

全国200万人
加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

保険金額

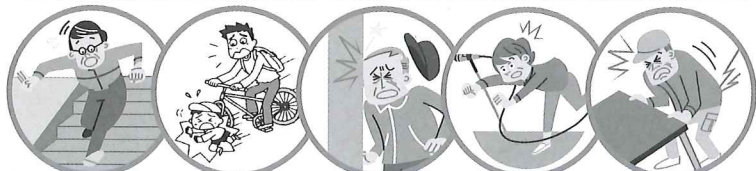
保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	Aプラン	350円	510円
	Bプラン	500円	710円
天災タイプ(※)	(基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険特約特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



災害ボランティア養成研修

平成30年4月からは、地域の方々の生活の困りごとに幅広く対応できるための窓口として権利擁護センターを新たに開設し、法人後見等に取り組む予定です。

様々な課題解決に向け、地域の方々と協働したまちづくりを進めています。

修了者の中から運営に協力いただける人材を育てる取り組みも行っています。



地域福祉活動計画策定委員会

阿南市社会福祉協議会では、阿南市地域福祉活動計画策定委員会及び14地区の策定委員会との協働により、平成29年度から33年度までの第2期阿南市地域福祉活動計画を策定しました。策定にあたっては、「このころのきづなつないでえがおのたのしいまちに」を基本理念に、自分たちのまちを見直し、良いところ、悪いところを考えてもらい、もっとこうなったら住み慣れた環境で住み続けられる、ここで住んでいきたい、というまちを描くことから始めました。社会情勢の変化と共に私たちの生活も変わりつつありますが、平成24年度に策定した第1期地域福祉活動計画における基本目標「交流」「環境」「健康」「安心」は、そのまま第2期にも用い、見守り活動や災害対応等、より具体的に継続性のある地域福祉活動を実践しています。

平成26年に加茂谷地区等に甚大な被害をもたらした水害では、社協が立ち上げた阿南市災害ボランティアセンターにおいて、運営の担い手不足が課題となりました。そこで「災害ボランティア養成研修」を開催し、修了者の中から運営に協力いただける人材を育てる取り組みも行っています。

自分たちのまちの課題解決に向けて

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

サロンの活動により、住民相互の連帯感も強くなり、助け合いの関係づくりも期待されます。今後は町内全域、サロンの輪を広げていきたいと考えています。

東みよし町社協では、今年度、「ふれあい・いきいきサロン支援隊事業」を始めました。この事業は「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げや運営をした地域の方々を募集し、サロンの立ち上げやプログラムを一緒に開発したり、万が一のケガ等の補償のための保険加入の手続きやその掛け金を社協が負担するとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスによる助成金を活用して運営費を補助する取り組みです。

サロンの立ち上げにあたって、間口を広げたことから、現在は「サロン元年」と言えるものとなりました。開設場所は集会所や公民館のほか、福祉施設内の一部や地域の共有建物、また個人の空き家等を活用しており、社協ホームページ内の地図上に、場所と各サロンの活動日等を掲載し、周知しています。

このように広がりを見せている背景には、東みよし町地域福祉活動計画策定委員の方々が、地域の障がい者や高齢者の居場所づくりや、身近な交流の場となるようご尽力いただいたことが推進力となりました。今後のサロン活動がさらに活発になるためには「自己資金をどう確保するか」、「参加者が固定して新しい人が入りづらい」、「場所が遠くて行きにくい」といった課題も見えてきたので、開設者同士の連絡会議も開催し、情報を共有しているところです。

サロンの輪が広がっています



連絡会の様子



サロンでのいきいき百歳体操

「共に支え合う未来を創る」助成事業

福祉サービス事業所等 地域連携サッカースクール

健全育成

団体名 特定非営利活動法人藍住町手をつなぐ育成会

連携団体 (有) いずみソーシャル・サポート
社会福祉法人 悠林舎

内容 徳島ヴォルティスの協力を得て、地域の複数の障がい児通所支援事業所と共に実施。室内活動が多い中、月に1度思いっきり体を動かすことや児童同士の交友の場が広がる機会となる。



花と緑と香りのネットワークで 環境美化と健康づくりを進める事業

健康維持

団体名 阿波市花と緑と香りのネットワーク

連携団体 阿波オープンガーデンクラブ
JHS ジャパンハープ
ソサエティ徳島支部
しばざくら倶楽部

内容 認知症予防等の健康づくりのハーブ活用術などを行う。阿波市内でミニガーデンの手入れ、管理も実施する。



がんピアサポート活動を通じた がん相談や啓発活動

生活支援

団体名 徳島県がん患者団体協議会

連携団体 がん患者と家族の会キャンサーライフとくしま
あけぼの徳島・グループネクサス徳島支部

内容 がん患者や家族が自らの体験を通して、がんの相談活動を行う。経験者との共感や分かち合いによるピアカウンセリングの実施。がんの理解を深める機会づくり。



災害ボランティアセンター 運営強化事業

災害対策

団体名 徳島県市町村社会福祉協議会職員連絡会

連携団体 県内市町村社会福祉協議会

内容 災害ボランティアセンターを設置する訓練を支援するとともに、偽ボランティア対策のためのステッカーを活用し、安心できる被災地支援を実現する。



防災講演を通じて防災の意識を 高めるとともに、災害弱者への 支援の方法を考える

災害対策

団体名 徳島県筆記通訳者協会

連携団体 阿南商工会議所地域防災委員会
阿南防災士の会
阿南市蒲生田・伊島・椿泊・椿賞賛推進会議

内容 要約筆記者として自分たちのできる聴覚障がい者への情報保障の方法を考える中で、地域や関係団体との連携の必要性を感じ、さらに当事者として防災意識を高める。



中学生職場体験学習 受け入れ事業

健全育成

団体名 特定非営利活動法人ほっとハウス

連携団体 徳島市加茂名中学校
(有) 下村商店

内容 普段の学校生活では学べない障がい者とのふれあいを通して障がいを肌で感じ、理解し助け合って認めて合っていくことができる。「みんながってみんないい」を実感してもらおう。

